

コースフロー /
コースカリキュラム

2018.10 – 2019.3

コンプライアンス

個人情報保護や情報セキュリティ、
内部統制といった、
コンプライアンス意識向上に
不可欠な知識が修得できます。

<https://www.hitachi-ia.co.jp/>
日立インフォメーションアカデミーホームページ

コンプライアンス

個人情報保護や情報セキュリティ、内部統制といった、コンプライアンス意識向上に不可欠な知識が修得できます。

● 全従業員に対しコンプライアンスやCSRの意識を啓発する

HSD011 レクチャ
 (半日研修)
 コンプライアンス研修
 ~組織における不祥事防止
 0.5日間

HSD012 レクチャ
 (半日研修)コンプライアンス研修
 ~個人情報保護、情報セキュリティ、
 SNSのリスクを知る編
 0.5日間

● モニタリング：内部統制が有効に機能しているかを継続的に監視する

HSJ062 グループ演習
 事例から学ぶ
 システムトラブル対策の考え方
 ~高信頼性システム実現のために~
 1日間

HSJ018 グループ演習
 システムトラブルの予防と是正
 -ISMS・システム監査の
 視点から-
 2日間

HSJ105 グループ演習
 システム監査で学ぶ
 開発・保守とリスク評価
 2日間

● 記録管理：内部統制の状況の確認、不正の発見、不正の抑止効果、内部統制の有効性の説明のために、企業活動を網羅的かつ正確に記録として残し管理する

音声有・説明文なし
DBE015 eラーニング
 HiRDB機能解説
 7時間

DBJ092 マシン実習
 HiRDBデータベース管理
 2日間
 または
 音声有・説明文なし
DBE305 eラーニング
 【マシン演習付き】
 HiRDBデータベース管理
 12時間

- 音声有・説明文有**：学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし**：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文有**：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

● セキュリティ管理：内部統制を実現するシステムが不正にアクセスされることを防止・抑止するためのセキュリティを管理する

Renewal 音声なし、説明文有
SCE708 eラーニング
 【ナビ機能付き】
 情報セキュリティリテラシー
 -セキュリティの必要性と対策-
 初心者におすすめ 4時間

音声なし、説明文有
SCE706 eラーニング
 【ナビ機能付き】
 情報セキュリティマネジメント概説
 -セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度-
 8時間

音声なし、説明文有
SCE703 eラーニング
 【ナビ機能付き】
 情報技術者に求められるセキュリティの基礎
 -要素技術(暗号、認証)編-
 6時間

● システム運用管理：内部統制を実現する各システムが正しく導入・運用されることを保証するために管理する

JPJ086 マシン実習
 JP 1 プロフェッショナル
 統合管理1-システム監視-
 (Version 11)
 2日間

音声有、説明文なし
JPE315 eラーニング
 【マシン演習付き】
 JP 1 プロフェッショナル 統合管理 1
 -システム監視-(Version 11)
 12時間

JPJ087/JPJ087T マシン実習
 JP 1 プロフェッショナル
 統合管理2-システム設定-
 (Version 11)
 2日間

音声有、説明文なし
JPE316 eラーニング
 【マシン演習付き】
 JP 1 プロフェッショナル 統合管理 2
 -システム設定-(Version 11)
 12時間

JPJ088/JPJ088T マシン実習
 JP 1 プロフェッショナル
 統合管理セットコース
 (Version 11)
 4日間

JPJ089/JPJ089T マシン実習
 JP 1 プロフェッショナル
 パフォーマンス管理
 (Version 11)
 2日間

JPJ094/JPJ094T マシン実習
 JP 1 プロフェッショナル
 資産・配布管理
 (Version 11)
 2日間

JPJ101/JPJ101T マシン実習
 JP 1 プロフェッショナル
 セキュリティ管理
 (Version 11)
 1日間

JPJ208/JPJ208T レクチャ
 JP 1 コンサルタント
 統合管理 (Version 11)
 1日間

JPJ209/JPJ209T レクチャ
 JP 1 コンサルタント
 パフォーマンス管理
 (Version 11)
 1日間

JPJ212/JPJ212T レクチャ
 JP 1 コンサルタント
 資産・配布管理
 (Version 11)
 1日間

音声なし、説明文有
ITE701 eラーニング
 【ナビ機能付き】
 運用管理概説
 初心者におすすめ 6時間

ITJ008 グループ演習
 情報システム運用入門
 -運用からITサービスへ-
 1日間

ITJ009 グループ演習
 IT運用における
 ヒューマンエラー 予防
 1日間

音声なし、説明文有
ITE006 eラーニング
 SLAにおける
 サービスレベル設計の基礎
 4時間

ITJ004 グループ演習
 システム運用の現状分析・
 設計力養成ワークショップ
 2日間

PDU
ITJ012 レクチャ
 (PDU)
 ITIL® ファンデーション
 (認定試験付)
 3日間

CLD001 グループ演習
 事業と技術の観点から検討
 するクラウドへの移行と管理
 - Cloud Essentials -
 2日間

音声有、説明文有：学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有、説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし、説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

HSD011 **コンプライアンス**

レクチャ

0.5日間

**(半日研修)コンプライアンス研修
～組織における不祥事防止**

事例をもとにコンプライアンスの問題点を考え、自分がとるべき対策を検討します。また、普段のコンプライアンス意識をチェックリストで確認します。不祥事防止の行動指針を確認したうえで、明日から取り組むことを、具体的な行動レベルで考えます。

到達目標 コンプライアンスの基本を理解し、自分がとるべき対策を検討することができる。

対象者 ・ 新人からベテランまで全ての方。
・ コンプライアンス違反を防止する体制作りを考えている方。
・ 不祥事防止のための基礎知識を学びたい方。

前提知識 特に必要としません。

内容 1. コンプライアンスとは
(1) 事例から考える
(2) コンプライアンスの定義・強化の背景
(3) 世間の常識と組織の常識のズレ
(4) 最も身近で重大な課題は「不祥事」
(5) コンプライアンス違反の与える影響
(6) コンプライアンス違反が起きる原因
2. コンプライアンス体制を作る
(1) 不祥事を防止する体制づくり
(2) 日常的な意識・行動・しきみをチェック
(3) 不祥事を起こさないための行動指針
(4) 意識改革の実現のために
3. ソーシャルメディア(SNS)の取り扱い
(1) ソーシャルメディアとは
(2) 事例
(3) ソーシャルメディアの危険性
(4) ソーシャルメディアポリシーを考える
4. まとめ

備考 ・ このコースは、14:00～17:00の開催とさせていただきます。
・ このコースは、株式会社インソースとの提携コースです。
・ 会場は、下記URLを参照ください。
http://www.insource.co.jp/bup/seminar_info.html

HSD012 **コンプライアンス**

レクチャ

0.5日間

**(半日研修)コンプライアンス研修
～個人情報保護、情報セキュリティ、
SNSのリスクを知る編**

個人情報保護や情報セキュリティ、ソーシャルネットワークの取り扱いを紹介し、コンプライアンスのポイントおよび社会の中で重要な規範を学習します。

到達目標 コンプライアンスのポイントを理解し、社会の中で重要な規範を意識できる。

対象者 ・ 新人の方。
・ コンプライアンスのポイントを学習したい方。

前提知識 特に必要としません。

内容 1. コンプライアンスについて
(1) 事例から考える
(2) コンプライアンスの定義・強化の背景
(3) コンプライアンスのポイント-意識の変化・制裁の特徴・予防策
(4) 日常的な意識・行動・しきみをチェック
(5) コンプライアンス違反をなくすための予防策として重視するものは？
2. 個人情報保護について
(1) 最近の個人情報流出事件
(2) 個人情報漏えいの経路と構造
(3) 個人情報保護法制定の背景・めざすもの・保護すべき個人情報
(4) 個人情報保護法の対応ポイント
(5) 個人情報漏えいが起きたら・・・
(6) 個人情報保護の対応策
3. 情報セキュリティについて
(1) 情報セキュリティの定義
(2) 情報セキュリティ対策の日常化
(3) 情報セキュリティの留意点
4. ソーシャルメディア(SNS)の取り扱い
(1) ソーシャルメディアとは
(2) 事例
(3) ソーシャルメディアの危険性
5. まとめ

備考 ・ このコースは、14:00～17:00の開催とさせていただきます。
・ このコースは、株式会社インソースとの提携コースです。
・ 会場は、下記URLを参照ください。
http://www.insource.co.jp/bup/seminar_info.html

HSJ062 **システム運用管理**

グループ演習

1日間

**事例から学ぶ
システムトラブル対策の考え方
～高信頼システム実現のために～**

情報化社会におけるコンピュータシステムは、組織や社会のインフラを支えるという極めて重要な役割を担っています。これらのシステムに障害が発生すると、ビジネスに与える影響は非常に大きなものとなるため、今日の情報システムには高い信頼性と安全性が求められています。システムトラブル対策の実践的知識を学習します。IT技術者が開発段階や運用段階で実施すべきトラブル対策のポイントを、解説とグループ演習を通して学習します。

到達目標 ・ システムトラブル発生状況とその対策実施状況を確認できる。
・ 開発段階と運用段階で留意すべきトラブル対策のポイントを理解できる。
・ システムトラブルマネジメントシステムの構築手順を理解できる。

対象者 プロジェクトマネージャ、システム開発担当者、システム運用担当者の方、システム品質管理担当者、ISMS導入担当者、内部監査担当者の方。

前提知識 情報化に関する基礎知識があること。

内容 1. なぜシステムトラブル対策なのか
(1) システムトラブル統計情報
(2) トラブル防止に向けた取り組み
2. 開発段階で実施するトラブル対策
(1) 開発段階における留意事項
(2) 開発段階での対策提言
3. 運用段階で実施するトラブル対策
(1) 運用段階における留意事項
(2) 運用段階での対策提言
4. システムトラブルをマネジメントする
(1) トラブル情報の収集とその活用
(2) 原因分析と対策立案
5. まとめ
講師：前橋 雅夫氏
前橋システムコンサルティング株式会社 代表取締役
公認システム監査人、ITコーディネータ、ISMS審査員補ほか

備考 ・ このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
・ このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

HSJ018 **モニタリング**

グループ演習

2日間

**システムトラブルの予防と是正
～ISMS・システム監査の視点から～**

情報システムの開発業務や運用業務で発生したトラブル事例を、予防処置と是正処置の観点から分析し、自らの職場において同様のトラブルを引き起こさないようにするために何をすべきか、その対策ポイントについて研究・学習します。

到達目標 ・ 情報システムの開発業務や運用業務でトラブルを引き起こさないための対策ポイントを説明できる。
・ システムトラブルの原因分析ならびに対策立案の手法を説明できる。
・ ケーススタディ演習において、システムトラブルの原因分析ならびに対策方法を立案できる。

対象者 ISMS導入を担当する方、ISMS内部監査人、プロジェクトマネージャ、システム開発・運用を担当する方。

前提知識 情報化に関する基礎知識があること。

内容 1. なぜシステムトラブルの予防と是正なのか
(1) 情報セキュリティ対策の実施状況
(2) システムトラブルの発生状況ほか
2. 情報セキュリティ概論
(1) 情報資産とは
(2) 脅威と脆弱性ほか
3. システムトラブルを未然に防止する
(1) 物理的な事前対策
(2) 技術的な事前対策
(3) 管理的な事前対策
(4) システム監査によるトラブル防止ほか
4. システムトラブルの再発を防止する
(1) セキュリティ事件・事故への対処
(2) システムトラブル報告書
(3) ヒューマンファクタ分析ほか
5. まとめ
(1) 危機管理の鉄則
講師：前橋 雅夫氏
前橋システムコンサルティング株式会社 代表取締役
公認システム監査人、ITコーディネータ、ISMS審査員補ほか

備考 ・ このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。
・ このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

HSJ105 **モニタリング**

グループ演習

2日間

**システム監査で学ぶ
開発・保守とリスク評価**

システム監査の基礎知識から実務手順・技法まで、演習を通して理解し、業務に活用できる知識を学習できます。また、事例演習により知識や技法を学習します。

到達目標 ・ システム監査の目的と機能、方法を理解し自己業務を信頼性、安全性、効率性の面から改善点を提示できる。
・ システム評価のための監査項目を説明できる。

対象者 システム監査技術者をめざす方、システム監査を学習したい開発者・運用者・内部統制関係者の方。

前提知識 3年以上の実務経験があるか、または同等の知識があること。

内容 1. システム監査理論
(1) システム監査の目的と機能
(2) 内部統制とリスクマネジメント
(3) システム監査手順と技法
2. システム監査の実践(事例演習によるシステム監査体験学習)
(1) 個人情報保護システムのシステム監査演習
(2) システム開発、システム保守監査演習
3. ITガバナンスとシステム監査
(1) IT内部統制評価のポイント
(2) テーマ別監査の監査項目とポイント(情報セキュリティ、業務委託など)

備考 ・ このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。
・ システム監査の知識は特に必要としません。
・ このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

HITACHI

Inspire the Next

各種研修サービスに関するお問い合わせ

地 区	T E L	F A X
東 京	03-5471-8962	03-5471-2564
大 阪	06-4797-7360	06-4797-7361
名古屋	052-269-8940	052-261-8276
広 島	082-546-6172	082-546-6173
福 岡	092-844-7522	092-844-7580

日立研修会お問い合わせ窓口 > <https://www.hitachi-ia.co.jp/inquiry/index.html>